

## ■ 第 3 章

### 現地調査結果

---

## 3.1 植物

### 3.1.1 植生

三島市内の植生<sup>(8)</sup>や土地利用の概要は、図 3-1-1 のとおりです。

低地には主に住宅地、工場、商業地、水田、箱根山麓には、住宅地、畑地、コナラなどの雑木林、モウソウチク林、ヒノキ植林地、ゴルフ場などがモザイク状に分布しています。低地から山麓には、スダジイ、タブノキ、エノキなどを含む自然性の高い林がありますが、三嶋大社や楽寿園などの神社や寺の周辺にわずかに残されているだけです。

箱根中腹にはヒノキ植林地が広く分布していますが、接待茶屋付近や山田川などの沢沿いには、ケヤキ、シデ類、カエデ類など主に落葉広葉樹からなる自然性の高い林が見られます。また、傾斜の緩やかな尾根上には畑地が広がっています。

箱根稜線付近は、ゴルフ場や別荘地に利用され、一般的に夏緑樹林帯<sup>(9)</sup>に優占するブナ、ミズナラの林はほとんど見られません。現在は、ハコネダケなどが生える草地や、アセビ、イヌツゲ、リョウブなどの風が強い稜線部にできる低木林などが分布しています。

表 3-1-1 三島市の植物群落

区分	群落区分	内容	主な垂直分布
樹林地	山地の低木林	アセビ、イヌツゲ、リョウブ、マメザクラなどが優占する稜線付近の低木林	稜線付近
	山地の落葉広葉樹林	ケヤキ、イヌシデ、カエデ類などが優占する山地の落葉広葉樹林	山地中腹
	山麓の落葉広葉樹林	コナラ、クヌギなどが優占する山麓部の落葉広葉樹林	山麓から山地中腹
	低地の落葉広葉樹林	エノキ、ムクノキなどが優占する低地の落葉広葉樹林	低地
	常緑広葉樹林	シイ、カシなどが優占する常緑広葉樹林	低地から山麓
	スギ・ヒノキ植林	スギやヒノキなどの植林地	山麓から稜線付近
	竹林	モウソウチク、マダケ、メダケなどの竹林	低地から山地中腹
草地	ササ草地(半自然草地)	ハコネダケ、スズタケなどササ類の半自然草地	稜線付近
	山地の草地(ススキ草地等)	丘陵部や山地部のススキ、ヨモギ、オオアレチノギクなどが生育する伐採や造成地後にできた草地	山麓から稜線付近
	低地の草地(ヨシ草地等)	平野部のヨシの草地や河川敷の草地など	低地
	人工草地	ゴルフ場、牧草地など管理されている草地	山地中腹から稜線付近
耕作地	水田	水田やその周辺の畦、溝など	低地
	畑地	畑地やその周辺の土手など	低地から山地中腹
	果樹園・茶畑	果樹園、茶畑などの人工樹林	低地から山地中腹
その他	市街地等	住宅地、商業地、工場、造成地、道路など	全域
	水域	河川や池・沼など	全域

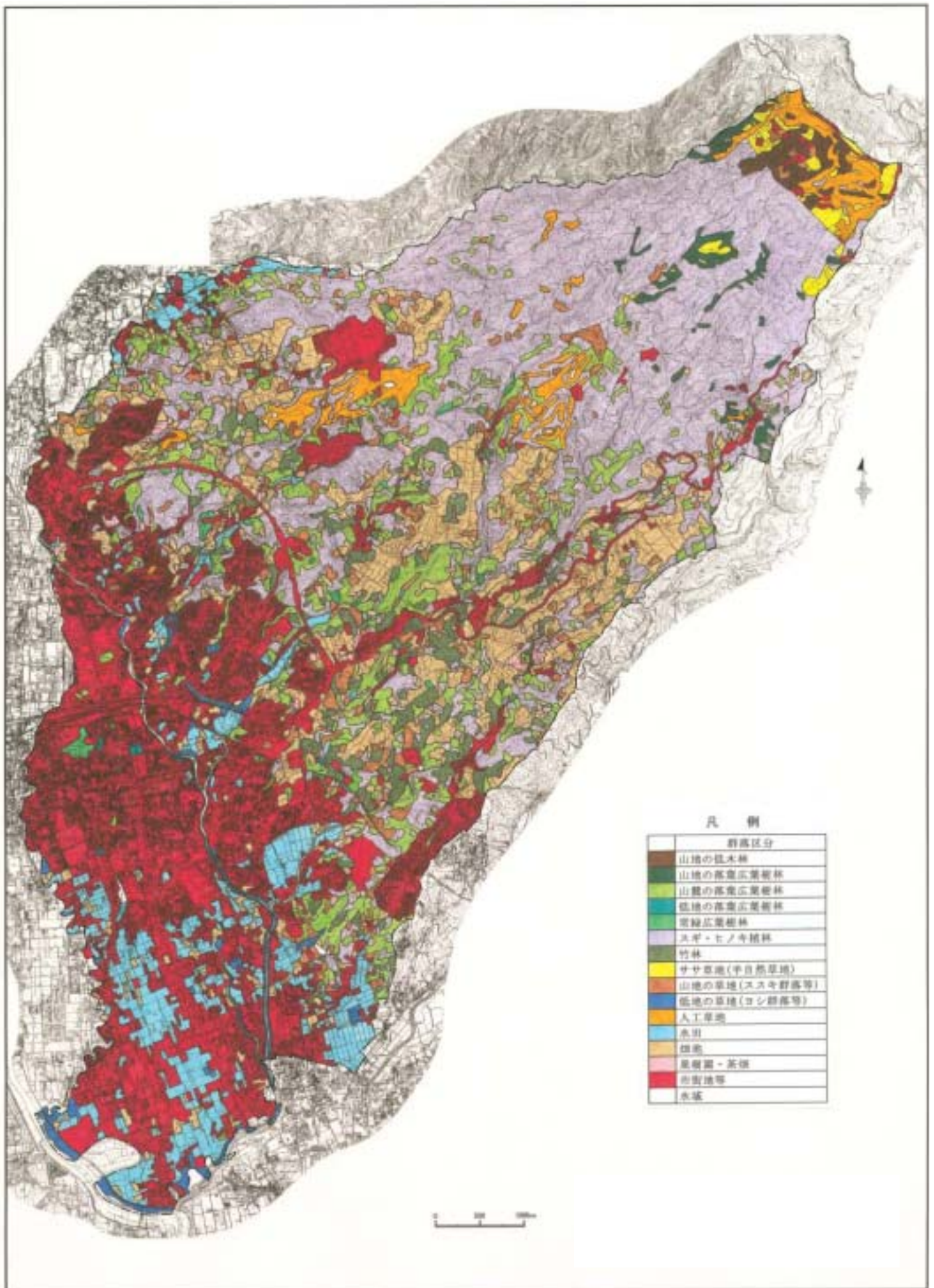


図3-1-1 植生・土地利用図

## (1) 樹林地

### 山地の低木林

稜線付近に見られる比較的自然性の高い低木林で、風の影響を受けるために樹高はあまり高くありません。アセビ、イヌツゲ、ウバメガシなどの常緑広葉樹や、リョウブ、マメザクラ、ニシキウツギ、ツクバネウツギ、マユミなどの落葉広葉樹が見られます。周辺はゴルフ場や別荘地などに利用されているため、これらの林は小面積に分断されていることが多いです。



### 山地の落葉広葉樹林

山地中腹のヒノキ植林の間に分布する落葉広葉樹を中心とした比較的自然性の高い高木林です。高木層<sup>(10)</sup>から亜高木層<sup>(11)</sup>にはケヤキ、シデ類、カエデ類、エゴノキ、ホオノキなど、低木層<sup>(12)</sup>には、クロモジ、アブラチャン、カマツカ、ヤブムラサキ、アオキなどが生育しています。草本層<sup>(13)</sup>にはスズタケなどのササ類が優占する林が多いですが、接待茶屋付近の落葉広葉樹林などササ類が繁っていない場所には、多くの草本植物<sup>(14)</sup>が見られます。



### 山麓の落葉広葉樹林

山麓から中腹にかけてモザイク状に広く分布する落葉広葉樹林で、シイなどの常緑広葉樹林が繰り返し伐採された後にできました。コナラ、クヌギなどを中心とするいわゆる雑木林で、ヤマザクラ、イヌシデなどが混じっています。低木層<sup>(12)</sup>にはガマズミ、ヤマツツジなどの落葉広葉樹のほか、ヒサカキ、ヤブツバキなどの常緑広葉樹も見られます。



手入れのされている雑木林には、多くの草本植物<sup>(14)</sup>が見られますが、管理されなくなるとササ類が侵入してきて、草本植物<sup>(14)</sup>は減っていきます。このような林は薪(まき)や木炭を生産する林として利用されてきましたが、現在は利用されず、放置される雑木林が増加しています。

### 低地の落葉広葉樹林

三嶋大社の社叢(しゃそう)、楽寿園などの公園や、松毛川周辺など低地のごく限られた場所に残っているムクノキ、エノキ、ケヤキなどからなる落葉広葉樹林です。低木層(12)にアズマネザサ、アオキなどが見られ、草本層(13)にはアケビ、ヤブラン、ジャノヒゲなどが生育します。

本来ムクノキやエノキの林は、比較的地下水位の高い湿性な低地や、河川沿いの自然堤防(15)上などにできますが、現在はほとんど伐採され見ることはできません。



### 常緑広葉樹林

主に低地から山麓の社寺林や箱根西麓に、スダジイ、タブノキ、クスノキなどが混じる常緑広葉樹林がわずかに残されています。低木層(12)や草本層(13)には、アオキ、シュロ、ヤブニッケイ、ベニシダなどの暖地の植物が多く見られます。かつてシイやタブの森林は、低地から山麓にかけて広く分布していましたが、住宅地や耕作地をつくるために伐採され、現在では社寺林等にわずかに残っているにすぎません。



また、山中城趾にはアカガシが優占する常緑広葉樹林が見られることから、やや標高が高い山地には以前はカシ林が分布していたものと思われます。

### スギ・ヒノキ植林

スギ・ヒノキ植林は山麓から箱根稜線付近にかけて広く分布し、特に中腹はほとんどがヒノキ植林地となっています。一般的にヒノキは、斜面中腹から上部の適度に湿った場所から乾燥地に多く植栽され、スギは谷部や斜面下部から中腹の湿性から適度に湿った場所に植えられます。



林が十分に管理されていれば、植林内の環境を好む様々な植物が生育しますが、管理されず、木の密度が高くなると林内がとても暗くなり、生育する植物はわずかとなります。

スギ・ヒノキは日本の林業の中で最も重要な樹種で、木材生産のため、かつてはたくさん植林されましたが、最近では労働力不足のため、手入れのされない生育不良な植林地も多く見られます。

## 竹林

山麓の谷沿いなど比較的水分条件の良い場所にモウソウチク林が、狩野川などの河川敷沿いなどにはメダケ林が分布しています。林内は暗いため、草本植物<sup>(14)</sup>はわずかで、種類も少ないです。

モウソウチクは中国原産の竹で、食用や竹細工のため、古くから植栽されてきました。しかし、近年は放棄された竹林が増加し、周辺の植林地や畑地などへの侵入・拡大が問題となっています。



## (2) 草地

### ササ草地 (半自然草地)

箱根外輪山の風当たりの強い稜線周辺にはハコネダケが密生し、イヌツゲなどの低木がまばらに生育するササ草地が見られます。本来森林であった場所が、伐採などの影響を受けた後出来たものと考えられます。風の影響を強く受けるため、一度伐採されると樹木は生長が難しく、ハコネダケの群落が継続する場合があります。



また、草地が伐り開かれた場所などには、ススキ、トダシバ、マルバダケブキ、ノコンギク、シシウド、マツムシソウ、ハコネアザミ、シモツケソウ、イヌゴマ、サワヒヨドリ、オオバギボウシなど草原性の植物が生育しています。

### 山地の草地

広葉樹林や植林が伐採された跡、造成後に放置された場所、大きな法面、放棄され長い年月を経た耕作地などには、ススキなどの草地が見られます。放置された造成地、放棄された畑地などは、最初にオオアレチノギク、ヒメムカシヨモギなどの草本(そうほん)が生育した後、セイタカアワダチソウなどが侵入し、やがてススキの草地に移り変わっていきます。このススキ草地もそのまま放置されれば、樹木が侵入してきます。



### 低地の草地

低地の草地には、狩野川河川敷に広がるオギ群落、北沢のヨシ群落、放棄水田群落などの地下水位が高い場所に成立する草地や、大場川、御殿川などの堤防内のクズ群落などが含まれます。



### 人工草地

山地には、ゴルフ場や牧草地などの人工草地が分布します。ゴルフ場はシバなどの草地で、頻繁な刈り込みが行われています。牧草地は、カモガヤ、オオアワガエリなどの外来草本(そうほん)を栽培する草地です。

## (3) 耕作地

### 水田

低地には水田が広がっていて、特に梅名、長伏などの中郷地域に多く見られます。水田には栽培されているイネの他、タマガヤツリ、チョウジタデ、ホタルイ、ホソバヒメミゾハギ、オモダカ、ウキクサなどの水湿地性の植物が見られます。

水田は夏期の湛水期と、冬期の排水期では水分条件が異なるので、このような変化に対応した植物が生育しています。



## 畑地

山麓から中腹にかけての比較的傾斜の緩やかな場所に見られ、特に佐野、元山中、笹原新田付近に多く、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ジャガイモ、ホウレンソウなど様々な作物が栽培されています。畑の雑草には、オオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、ホトケノザ、スベリヒユ、ザクロソウ、エノキグサ、メヒシバ、エノコログサなどが見られます。除草が行われるため、一年草<sup>(16)</sup>が多いのが特徴です。



## 果樹園 茶畑

静岡県内では、温州ミカンをはじめとする柑橘類や茶の栽培がさかんです。三島市内でも、低地から山地中腹の所々に果樹園や茶畑が分布しています。

## (4) その他

### 市街地等

人口が集中する住宅地、商業地、工場用地、造成地、道路、鉄道敷地などが、低地を中心に広がっています。緑地空間は、街路樹や公園などわずかで、空き地や路傍に雑草が見られる程度です。

### 水域

水域としては、狩野川、大場川などの河川、松毛川、中郷温水池などの池があげられます。植生<sup>(8)</sup>のない開放水域がほとんどですが、松毛川河跡湖<sup>(1)</sup>には、ホテイアオイなどの浮葉植物<sup>(17)</sup>が見られます。